

# ロクハの自然をどうぞ 6月号



ロクハ公園にあるのはほとんどハナショウブ

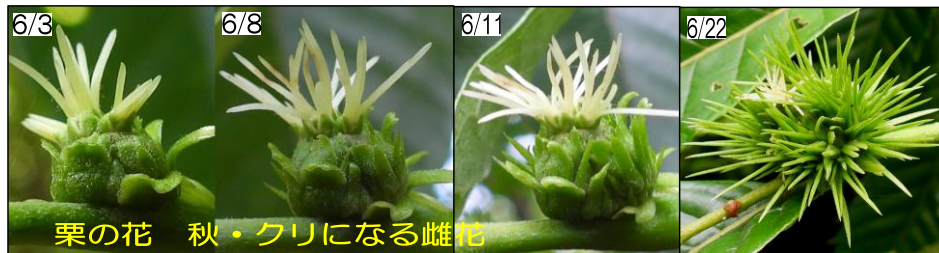
## いずれ菖蒲（あやめ）か杜若（かきつばた）

ハナショウブ（花菖蒲）とアヤメ（菖蒲）とカキツバタ（杜若）は花がそっくりで混同しやすいです。タイトルはどれもすばらしいという慣用句  
 ▶アヤメ・花びらの根元は黄色で、内側に筋が食い込んでいる。（=文目模様）  
 ▶カキツバタ・花びらの根元は白色で、模様は入っていない。  
 ▶ハナショウブ・花びらの根元は黄色で、その外側に筋が入っている。  
 3つの花はアヤメ科の仲間で、ショウブはイモ科、菖蒲湯に使う花が咲くショウブとして花菖蒲になる、アヤメなのにハナショウブと混同し「菖蒲」をアヤメと読ませる花札の菖蒲はアヤメだが本来はカキツバタ。八つ橋がある湿地にはアヤメは咲かないショウブの葉っぱは刀に見立て、尚武や勝負と関連付けられる菖蒲にからむ面白い話がいっぱいあります。



## クリ

クリの花が咲き始めています。臭いで分かります。房状の花がたっぶりついて、そのあとどっきり落ちる白い花のほとんどはオシベ。メシベは枝に2・3個、花の房の枝近くに出てきます。クリのいがを感じさせるものが出ています  
 真ん中の白いものは雌花の柱頭のようなものでここに花粉が付くことで実ができます。栗のイガの中に三つできるのです。さてイガですが、この緑いろの部分が成長しながらトゲトゲのイガになっていきます。6/11のものは6/3に比べ緑色の部品が細く変化していているのがわかります。6/22の写真はちがう花ですがより針状になりクリのいががそのものです。（2022年の記録より）



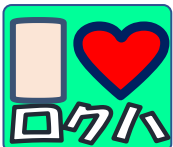
栗の花 秋・クリになる雌花

## そくそくキノコ

月末にキノコウォッチングを開催します。うかと気にしてましたが、この二日の雨は一気にキノコを育てています。ガイドをしてくださる先生によると、キノコの細胞の数は育ち初めから最後までかわらないそうです。水でふやけているみたいなのだそうです。



公園利用の呼びかけ看板のヒストグラム。公園利用の人だけでなく、すべての動植物を守るための大切なことです。



草木の花はいろいろな形で咲きます。



アザミ



アレチハナガサ



ヒメガマ



クサイ



ツユクサ



ハナショウブ



ハルジオン(春紫苑)



ヒメジョオン(姫女苑)



ネジバナ



キキョウソウ



ワルナスビ



ハマセンブリ



アジサイ



シモツケ



グミの実



ウメモドキ



イチョウの銀杏



アカメガシウ



めばな(雌株)

おばな(雄株)



マテバシイの花

め花→

お花→

昨年受粉したものが今秋結実



エゴノキになるもの

エゴノキの実



エゴノキになる虫こぶ



ヘクソカズラ



ナンテン



ムラサキシキブ



ネムノキ



ノウゼンカズラ

もともとは紫色の花がびっしり咲くということでムラサキシキミだったのが紫武部とと発音が似ているので、雰囲気もいいのではと改名になったかという話

糸のような雄しべをいっぱい出すきれいな花をつけます。公園の木はかなり大きくなっていて見過ごしがちです。葉が夜になると少し閉じるようです

夏のイメージがありますが、この時期から咲き始めます。地植えされたものは繁殖力がすごく壁でもはい上がっていきます

### 身近な生き物カエル

数が減ったカエルのいますがロクハ公園ではこの時期以下の6種のカエルが見られます。虫や小魚を食べます。ヒキガエルはいませんね。



トノサマガエル



ウシガエル



ニホンアカガエル



ニホンアマガエル



シュレーゲルアオガエル



ツチガエル

### カタツムリ結構います

梅雨時期の代表的な生き物としてカタツムリがいます。年間を通じてかなりの数みかけます。ぎよっとするほど集まっていることも



①



②



③



④

①は殻の形が違います。他に比べ厚みがありとんがっているように思えます。②③④形は同じですが模様が変わります。成長のちがいによって見られるちがいもあり学習中です。

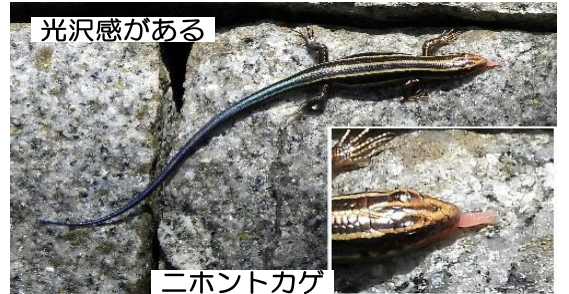
びっくり とにかくでかい、長い



ヤマナメグジ



コウガイヒラ



光沢感がある

ニホントカゲ



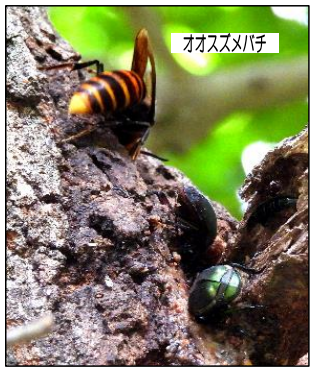
トカゲ2種

かさかさとうろこ状

カナヒビ

# 樹液酒場プレオープン

クヌギやコナラ、アラカシなど樹液を出します。夏の盛りと比べると少ないですが、その樹液に虫が集まり始めます。それぞれ規模は小さいですがいろんな虫が集ってきます。危ないスズメバチや毒がある虫もいます。気をつけましょう



オオスズメバチ



カナブン

キスイムシ

シロテンハナムグリ



カブトムシ♀



ノギリクワガタ♀♂

ヒカゲチョウ

コムラサキ



オオスズメバチ



夏の様子 数が増えてきます



キスイムシ



ホシアシナガヤセバエ



コムラサキ



ヒメジャノメ

樹液に集まるチョウ



ヒカゲチョウ



ルリタテハ



サキマダラヒカゲ



ゴマダラチョウ



アキアカネ

この時期に羽化してくるトンボでよく見られるものアキアカネはすぐに涼しい山間に移動、秋に再度見られる、夏の時期によく見られるショウジョウトンボ。秋のアカネトンボ群にははいらない。



コシアキトンボ 白い部分が抜けているので腰空蜻蛉

アブの中でもムシヒキアブはこれから多く見られます虫を捕まえて体液を吸う狩りです。たくさんの種類がいて中には哺乳類につき吸うこともあります。記録写真の中には虫を捕まえているシーンが結構あります。



シオヤアブ



サキグロムシヒキアブ



ショウジョウトンボ



コオニヤンマ

オニヤンマとは無縁、サナエトンボの仲間



マガリケムシヒキ



ムシヒキアブ



シロスジカミキリ



ヨツシハナカミキリ



キボシカミキリ



ナガコマフカミキリ

種類が多いカミキリムシ

ロクハツアー 初夏から梅雨へ 6/16(日)10:00

キ/コウオツキング 6/30(日)10:00

ロクハの自然.COM

facebook「ロクハ見守り」  
www.facebook.com/rokuhafamily

ロクハ公園HP  
http://www.park-698.net//

編集後記 何とか4Pに収めた。野鳥は少しお休み。虫の天下だ。